

紫式部と 清少納言 ～後宮争いと漢詩文～

無料
学生・一般
各50名
5/7(火)
募集開始

一条天皇の中宮である定子に仕えた清少納言と、彰子に仕えた紫式部はライバルだったと見なされていますが、本当にそうだったのでしょうか。
二人の漢詩文をめぐる考え方や振舞い、中宮や周囲の人々との交流から考えます。



日時：6月5日(水)10:50～12:10

場所：聖学院大学 教授会室

受付開始:10:30



講師 木下綾子

聖学院大学人文学部日本文化学科准教授

明治大学大学院博士後期課程修了。
博士(文学)。
専門は平安文学。特に、物語文学や漢詩文を日中の文学・歴史資料と比較して読解、研究している。2017年と2021年には「子ども大学 あげお・いな・おけがわ」にて百人一首とくずし字をテーマに講義し、2023年には上尾市上平公民館にて「源氏物語と長恨歌～桐壺巻のテーマ～」全4回の講師を務めた。聖学院大学の講義の一部は社会人に公開している。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

お問い合わせ・お申込み

聖学院大学総合図書館 TEL 048-725-5461

<https://www.seigakuin.jp/events/20240605kouenkai/>